

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介

社会福祉法において、社会福祉法人の責務とされている「地域における公益的な取組」について、県内の社会福祉法人の取組を紹介します。

社会福祉法人養和会 あんず・あぶりこ

親子パン教室・出張パン教室 ～コロナ禍でも親子で楽しめる機会を～

【取組みの経緯・内容】

あんず・あぶりこでは、障がいのある方の就労支援として、パン工房とカフェを運営しています。新型コロナウイルスが流行し始めた5年ほど前、外出や遊びに行けず、外食もできない状況のなか、何か子どもたちが楽しめることができないかと考え、事業所でのパン作りを活かした親子パン教室を始めました。当初はカフェスペースを活用して行っていたのですが、現在はパン工房に近い事業所の食堂を活用して行っています。事業所の食堂ですることにより、事業所の様子や見学通路からパン工房も見え、普段どんな場所で利用者の方が働いておられるのか、参加者の方の目に自然と触れることで、事業所や障がいのある方への理解につながればとの思いから、変更したそうです。

また、事業所がある地域の子ども会と連携して、出張パン教室も開催しています。もともと自治会とのつながりがあったことから、地域の子どもたちのためにパン教室ができないか提案し、地元公民館を使った出張パン教室の開催が実現できたそうです。生地は事業所から運び、パンを作ることを楽しんでもらい、一旦事業所に持ち帰って焼き上げたパンを参加者の方に取りに来ていただいています。後日参加者の方が、自宅でパンを食べている様子を写真やはがきなどで送ってきてくれるそうです。

それぞれ年1～2回程度開催しており、インスタグラムなどのSNSを活用して周知していますが、毎回お知らせを公開してからすぐに定員いっぱいになるほど好評です。次回の開催の問い合わせがあるなど、楽しみにしている方も多いようです。

【取組みによる成果】

- ・外出などがなかなか出来なかった子どもたちにとって、楽しみとなる場所の一つとなりました。
- ・新型コロナウイルスが落ち着いてきた後も参加者が絶えず、毎回盛況となっており、地域において必要とされる教室となっています。

【利用者の声】

- ・コロナ禍でなかなか出かけることがなかったなか、こうした体験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・子どもたちがとても楽しそうで、次回も是非参加してみたいです。

【活動者のコメント】

- ・コロナ禍でこうした教室を開催することは、事業所にとって感染のリスクも感じていましたが、地域の方にコロナ禍での楽しみを提供できたことはとてもよかったと感じています。
- ・自分たちの事業所の活動を生かし、パン作りという親子で一緒に作って楽しめる機会を作ることができたことは、自信につながりました。
- ・参加者の方から送られてくる写真やはがきには、親子で嬉しそうにパンを食べている姿があり、取組みを続けるモチベーションになっています。



【町内3法人による連携】 社会福祉法人立石会・社会福祉法人赤碕福祉会・社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会 生活用品支援事業～生活全般を支援していくために～

💡 「生活用品支援事業とは」とは？

生活に困窮されている方へ、町民・企業・商店のみなさんから生活用品の寄付を募り、提供することで、困窮の方の自立を支援する仕組みです。また、これを通じて町民がお互いに助け合いのできるまちづくりを進めています。

【取組みの経緯・内容】

琴浦町では、平成29年度に町内の社会福祉法人3法人（琴浦町社協、立石会、赤碕福祉会）による法人連絡会を立ち上げ、地域のなかで各法人が感じている課題や情報を共有し、必要とされる支援の検討などを行っています。

平成30年からは、子ども食堂の取組みを進めていきましたが、コロナ禍の影響で令和2年度より休止となりました。それを機に、改めて社会福祉法人として地域住民のために何かできることはないか、具体的に協議を進めていくため、各法人で直接地域住民と関わっている職員による意見交換の場を設けました。

琴浦町社協へ生活に困って相談に来られる方のなかには、食糧の提供に抵抗がある方もありました。そこで、生活用品であれば受け入れてもらえるのではないかと考え、各法人や地域に眠っている生活用品を募集し、相談に来られた方で必要とされている方に提供する事業を提案しました。

これに対し、集まったものを保管する場所をどうするのかといった意見もありましたが、各法人で保管場所を確保することで進めていくこととなり、令和4年度から事業を開始しました。

主に洗濯洗剤や柔軟剤、シャンプー、高齢者用オムツ、未使用のタオル、石鹸など各法人や地域住民から寄付をいただき、生活に困って相談に来られた方のお話を丁寧に伺いながら、食料の支援とあわせて、必要とされる生活用品を提供しています。

これまでに20～70歳代の子育て世帯や高齢者を介護している世帯の方14名に約100点の生活用品の提供を行いました。相談は本人から直接社協に来られる場合や町役場の福祉・子育て関係課を通じて来られることもあり、町役場と連携を取りながら支援をされています。

また、こうした事業の状況を地域住民や法人連絡会で報告をし、意見などを伺っています。

【取組みによる成果】

- ・この事業を開始するまでは、現物として食料の支援を行っていましたが、生活用品も支援できるようになり、食べ物に限らず、生活全般の困りごとなどについて話を伺うきっかけにもなっています。
- ・地域住民から寄付を募り、状況の報告を行うことで、地域にどんなことで困っている人がいて、どのような支援が行われているかということ意識してもらうきっかけになっています。

【利用者の声】

- ・洗濯洗剤や石鹸など生活に必要なものも困っていたので、大変助かります。
- ・子育て中で子どもに関する用品は負担が大きいのでとてもありがたいです。

【活動者のコメント】

- ・貸付を希望し相談に来られても貸付条件に合わない方もおられますが生活用品や食料品の支援ができることを伝えることで、生活の様子や生活全般の困りごとを話してくれやすくなっています。

